

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成22年6月18日（金）

研究課題	酸化亜鉛透明導電膜の成膜プロセス開発と有効活用に関する研究	
研究期間	平成20年度～21年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.4
	2 目標の達成度	4.4
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	4.2
	4 今後の発展性	4.8
	5 総合評点	4.8
<p>酸化亜鉛透明導電膜を低温プロセスによりプラスチック基板へ成膜する技術開発で、確実に成果を上げており、産学官コンソーシアム事業、戦略的基盤技術高度化事業の完成段階に位置するものである。</p> <p>軽量ディスプレイ、電子ペーパー、電磁シールド材料への実用化の可能性を示したことは高く評価されるものであり、今後の製品応用について早期に検討を進められたい。</p>		